

## 下水道事業会計

### 1 事業の実績

#### (1) 業務概括

本年度は、前年度同様、未普及地域における污水管渠布設事業が行われた。これにより、汚水処理量が増加するため、南部浄化センター及び田主丸浄化センターの増設事業などの建設改良工事が実施された。施設の耐震化や長寿命化を図るための電気・機械設備の更新が行われ、雨水事業として、豪雨による浸水被害の工事の計画・設計に着手した。

さらに、人口減少に伴う使用料収入の減少など、今後も厳しい経営環境が続くと予想される中、安定的に事業を継続していくことを目的として「久留米市上下水道事業経営戦略」が策定された。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減 数	増減率 (%)
行政区域内人口 (人) A	304,079	304,705	△626	△0.2
処理区域内人口 (人) B	260,464	256,829	3,635	1.4
水洗化済人口 (人) C	229,681	228,445	1,236	0.5
普及率 (対人口) (%) B/A	85.7	84.3	1.4	
水洗化率 (%) C/B	88.2	88.9	△0.7	
全体計画面積 (ha) D	6,481	6,460	21	0.3
処理区域面積 (ha) E	5,338	5,250	88	1.7
普及率 (対面積) (%) E/D	82.4	81.3	1.1	
管渠総延長 (km)	1,340	1,316	24	1.8
職員数 (人)	51	52	△1	△1.9
※()内は短時間勤務職員数で外数	(9)	(8)	(1)	
現有処理能力 (m <sup>3</sup> /日) F	118,000	110,600	7,400	6.7
現在晴天時平均処理水量 (m <sup>3</sup> /日) G	73,591	71,141	2,450	3.4
現在最大処理水量 (m <sup>3</sup> /日)	94,189	93,959	230	0.2
施設利用率 (%) G/F	62.4	64.3	△1.9	

#### (2) 処理人口及び普及率等の主な増減の内容

処理区域内人口は、毎年度増加を続け、本年度も前年度比 3,635 人 (1.4%) の伸びとなっている。普及率 (対人口) は、処理区域内人口の増加により、前年度より 1.4 ポイント上昇して 85.7% である。

処理区域面積は、市全体の計画面積 6,481ha に対して 5,338ha で、前年度比 88ha (1.7%) 増加している。普及率 (対面積) は、前年度より 1.1 ポイント上昇して 82.4% である。

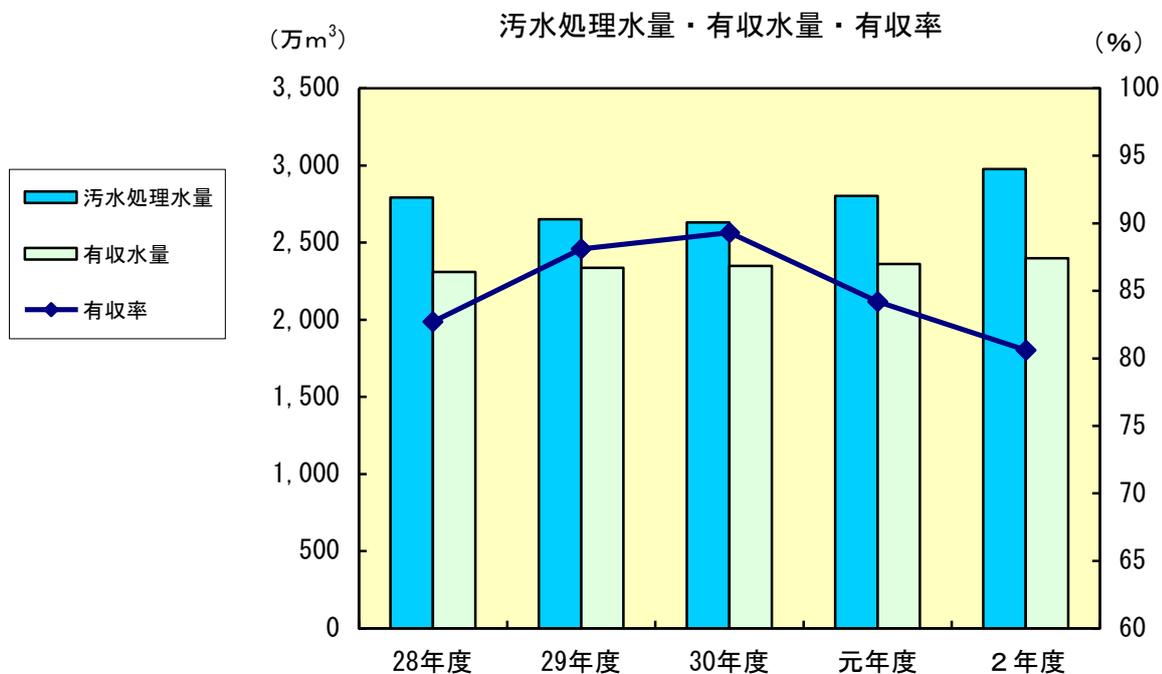
管渠総延長は、前年度比 24km (1.8%) 増加して 1,340km となっている。

施設利用率は、施設の平均的な稼働状況を示すものである。本年度は、前年度から 1.9 ポイント低下して 62.4% となっている。低下した理由は、汚水処理水量の増加に伴い、平均処理水量が増加したが、それ以上に、南部浄化センター及び田主丸浄化センター増設により現有処理能力が増加したためである。

(3) 汚水処理水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

汚水処理水量は、前年度と比較すると、1,743,153 m<sup>3</sup>の増となっている。有収水量も前年度より377,032 m<sup>3</sup>増加しているが、有収率は、3.6ポイント減の80.6%となっている。

なお、年間汚水処理水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m<sup>3</sup>・%)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
汚水処理水量 A	27,916,589	26,514,312	26,309,195	28,030,353	29,773,506
有収水量 B	23,100,180	23,368,659	23,491,734	23,606,196	23,983,228
無収水量	4,816,409	3,145,653	2,817,461	4,424,157	5,790,278
有 収 率 B/A	82.7	88.1	89.3	84.2	80.6